

# Qthlog2tsv/実行

入力ファイルは QTHoney add-on の .log2 拡張子のログファイルです。

lunaサーバでは /usr/local/share/qthlog2csv/0401/bin/qthlog2tsv.sh が最新のプログラムです。(2013-04-01)

cresサーバでは /usr/local/share/qthlog2tsv/bin/qthlog2tsv.sh が最新のプログラムです。(2013-04-05)

以下、cresサーバでの例を掲載しています。

## Qthlog2tsv/実行

単一ファイル进行处理する

複数ファイル进行处理する

ディレクトリ以下を全て処理する

SERPの設定を切り替える

## 単一ファイル进行处理する

```
/usr/local/share/qthlog2tsv/bin/qthlog2tsv.sh < (入力のイベントログのファイルパス) > (出力のアクションファイルのパス)
```

## 複数ファイル进行处理する

```
mkdir (出力ディレクトリパス) # ここに入力ファイルと同じ相対パスのファイルで出力される
```

```
/usr/local/share/qthlog2tsv/bin/qthlog2tsv.sh -p -d (出力ディレクトリパス) (入力ファイル相対パス1) (入力ファイル相対パス2) ...
```

## 例えば

```
/usr/local/share/qthlog2tsv/bin/qthlog2tsv.sh -p -d output 20130123/1.log 20130228/2.log
```

の結果は以下ようになります。

- output/20130123/1.log.tsv
- output/20130228/2.log.tsv

## ディレクトリ以下を全て処理する

```
mkdir (出力ディレクトリパス) # ここに入力ファイルと同じ相対パスのファイルで出力される
```

```
/usr/local/share/qthlog2tsv/bin/qthlog2tsv.sh -r -p -d (出力ディレクトリパス) (入力ファイルディレクトリ)
```

例えば、前項と同じ入力ファイルが配置されているディレクトリで

```
/usr/local/share/qthlog2tsv/bin/qthlog2tsv.sh -r -p -d output ./
```

の結果は以下ようになります。

- output/20130123/1.log.tsv
- output/20130228/2.log.tsv

## SERPの設定を切り替える

高久先生がSourceForgeに登録されていた当時のSERP定義で処理を行いたい場合、qthlog2tsv.shに「 -l /usr/local/share/qthlog2tsv/perlmod/forOldLogs/ 」を指定してください。

設定をカスタマイズしたい場合、「 /usr/local/share/qthlog2tsv/perlmod/serps.pm 」を任意のディレクトリにコピーして編集し、ディレクトリ名を -l オプションに指定してください。